

アル・アクサ洪水第748日目：イスラエルが停戦違反を続ける中、仲介者は戦争終結に確信

Palestine Chronicle、2025年10月21日、協浜義明訳



イスラエル軍によりアットゥファーフ地区でパレスチナ人3名が殺害され、停戦合意が再び破られた。(Photo: Khames al-Refi, social media, via QNN)

主要事項

*イスラエルのさらなる停戦違反で、イスラエル軍がガザ市のアットゥファーフ地区を攻撃し、3人のパレスチナ人が死亡した。

*報道によると、スティーヴン・ウィトコフとジャレッド・クシュナーはネタニヤフ首相に、ガザ停戦合意を破壊するいかなる行為も容認できないと言ったという。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者68,229人、負傷者170,369人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月21日 11:05 pm

*ハマス声明：指導部員会のモハンメド・ダルウィッシュ委員長が率いるハマス代表団が、ドーハで、トルコのハカン・フィダン外相とイブラヒム・カリン情報長官と会談した。ダルウィッシュは、ガザ停戦の実施状況と援助物資供給メカニズムの状況について報告し、イスラエルが義務の履行を遅らせており、ラファ・クロッシングを再開していないことを指摘した。彼は、イスラエルが停戦違反を繰り返しているが、ハマスが停戦維持を完全履行していることを述べた。

10月21日 10:23 pm

*チャンネル14：財務省高官と財務大臣に近い情報筋が、イスラエルの来年度国防予算を減額する計画だと言った。

*タイムズ紙：英国軍が、ガザ停戦を監視する多国籍軍に加わるために、イスラエルへ派遣された。

*チャンネル10：情報筋によれば、ツアヒ・ハネグビ国家安全保障顧問は、ガザ市占領提案などネタニヤフ首相の決定に反対したために解任された。

*ワシントンポスト：関係筋の話では、ステイーヴン・ウィトコフ特使は、国際刑事裁判所から指名手配されているネタニヤフ首相に、今後30日間がガザ停戦協定の「第二段階へ移行するうえで極めて重要」だと通告した。

*イスラエル軍：軍は、人質の2遺体を受け取るために、赤十字がガザ回廊南部の指定場所へ向かったと発表した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によると、ハーン・ユーニス東部へのイスラエルのドローン攻撃で、パレスチナ人が1人死亡し、数人が負傷した。

10月21日 8:50pm

*カン：ネタニヤフ首相に近い筋からの情報では、最近国家安全保障顧問の職を解任されたツアヒ・ハネグビは、首相の不利な情報をリークしたから解任された。

*アクシオス：政府筋によれば、マルコ・ルビオ国務長官は今週後半にイスラエルを訪問する予定。

*イスラエル・ハヨム紙：ネタニヤフ首相が自分の国家安全保障顧問のツアヒ・ハネグビを解任する決定をしたのは、顧問がネタニヤフのガザ占領案やカタール攻撃に反対し、両者が政策に関して激しく対立したことに起因する。

10月21日 8:50pm

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は自分の国家安全保障顧問を解任した。

10月21日 7:22pm

*パレスチナ・クロニクル：「植民地主義者たちはハマスの武装解除で平和が実現すると主張している。しかし、正義なき平和はアパルトヘイトを固定するだけだ」。[ランジャン・ソロモンの小論](#)を読みたい。(Ranjan Solomon, "No peace without Justice: Disarming Hamas Means Disarming Palestinian Cause", Palestine Chronicle, October 21, 2025)

*ハアレツ：イサク・ヘルツォグ大統領府はハアレツ紙に対し、大統領が人質家族会と、現在進行中のネタニヤフ汚職裁判に関し、ネタニヤフ首相へ恩赦を与える可能性について話し合ったと言った。

10月21日 7:10pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団は、イスラエル人質の遺体2体を火曜日夜に引き渡すと発表した。

10月21日 6:54pm

*パレスチナ・クロニクル：カナダのモントリオールにあるユダヤ人私立学校が500万ドルの公的補助金を受けている。学校は「宗教学校」と謳われているが、実際の指導内容はシオニズム思想が色濃く反映されている。

10月21日 6:47pm

*アル・ジャジーラ：J.D. ヴァンス米副大統領は、ガザ復興のための民軍調整センターの開設を発表した。彼は、「ガザに多少の暴力行為があるが、和平の終焉を意味するものではない」と述べ、「状況は良好で、素晴らしく前進している」と言った。

*在エルサレム米国大使館：米政府は、イスラエル人質の全遺体が家族のもとに返還されるようにする決意である。

10月21日 5:27pm

*パレスチナ・クロニクル：国連人道問題調整事務所（OCHA）によると、違法なイスラエル入植者らが占領下のヨルダン川西岸全域で1週間の間にパレスチナ人に対する71件の攻撃を実行し、パレスチナ人1名が死亡、99名が負傷した。

10月21日 5:20pm

*パレスチナ・クロニクル：ガーディアン紙がガザ保健省当局者の話として報じたところによると、イスラエルがガザ地区に返還した少なくとも135体の切断されたパレスチナ人遺体は、拷問や虐待、さらには拘禁中の死亡事例で悪名高いスデ・テイマン拘置施設から搬出されたものである。

*イスラエル軍：ハーン・ユーニスのイスラエル軍支配地区だとイスラエル軍が主張する地区で、爆発物が爆発し、イスラエル兵2人が軽傷を負った。

*アル・カッサム旅団：今日発掘したイスラエル人質2人の遺体を、現地時間午後9時に引き渡す。

＊米大統領：トランプ大統領は、もしハマスが停戦合意に違反した場合、「ハマスを罰するための」大規模軍事作戦を歓迎すると、中東地域同盟諸国がトランプ大統領に言ったことを発表した。そして、「ハマスが正しい行動をとることを期待する。そうしなければ、ハマスは迅速で暴力的で残忍な終焉を迎えることになるだろう」と述べた。

＊ワシントンポスト：J.D. ヴァンス副大統領は、ガザ停戦の実施を監視するイスラエルにある民軍調整センターを訪問する。また、明日の水曜日には、ネタニヤフ首相との会談前に、イスラエル国防軍司令本部を訪問する予定。

＊アル・ジャジーラ：国連食糧農業機関（FAO）のファデル・アズービ顧問はアル・ジャジーラに対し、ガザへの人道支援は依然として不十分で、状況は「極めて深刻」と述べた。

10月21日 4:19 pm

＊パレスチナ・クロニクル：イスラエルのミリ・レゲフ運輸相は、昨日、以前に殺害したハマス指導者ヤヒヤ・シンワールの遺体は、ハマスに埋葬のために返還しないで、ここで焼却することを、治安関係閣僚に提案した。

10月21日 3:55 pm

＊イスラエル軍：イスラエル軍参謀総長は戦闘はまだ終わっていないとはっきり断言し、軍はあらゆる戦線、とりわけ占領地西岸地区で大きな課題に直面していると述べた。

＊フランス・メディア：マクロン大統領は安保理に対し、ガザの統治と治安の枠組みを確立するために、ガザに関する緊急決議を採択すべきだと求めた。彼は、人道支援の全面的アクセスを可能にし、ガザの重症患者を外国で治療できるように、国境クロッシングと救援ルートを開くことを求めた。

10月21日 2:09 pm

＊ガザ保健省：この24時間で、遺体13人と負傷者8人がガザの病院へ搬送された。これで、2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者68, 229人、負傷者170, 369人となった。

＊ヒンド・ラジャブ財団：ヒンド・ラジャブ財団は、パレスチナ人少女ヒンド・ラジャブと彼女を助けようとした人々の殺害に関与したイスラエル軍兵士と指揮官ら24人に対する逮捕状を発行するように国際刑事裁判所に提訴した。財団は、「バンパイア・エンパイア」部隊、第52機甲大隊、第401機甲旅団に所属する24人の責任を特定し、第15条に基づく120頁にわたる法的文書を提出した。

＊カン：米国副大統領が2日間訪問のためにイスラエルに到着した。

＊パレスチナ・メディア：ナセル総合病院は、最近釈放されたパレスチナ人囚人の遺体15体を受け入れた。これは、第6回目の返還囚人遺体の一環である。

10月21日 12:21 pm

＊ニュースのまとめ

・WF P；世界食糧計画（WF P）は、現在ガザに入っている食料は約50万人の2週間分になると述べた。一部はガザ回廊北部に届いているが、必要量に達していない。国境通路がすべて開いているわけではないので、必要量の支援物資がガザに入っていないと、WF Pが指摘している。

・入植者がラマッラー近郊に建物建設；パレスチナ人のネット・プラットフォームは、ラマッラー東のアル・ムガイール村のアル・カラ地区で、入植者が拠点となる建物を建設している映像を記録・拡散した。

・ガザ沖で、イスラエル海軍が漁師3人を拘束；漁業組合連合は、イスラエル海軍がガザ沖で操業中の漁師3人を銃撃し、逮捕したと報告した。

・ウィトコフとクシュナー、解放された人質と面会；人質家族会は、昨日月曜日にウィトコフとクシュナーが解放人質とテルアビブで面談した。人質たちは、残る人質（遺体）が全部帰ってくるまで諦めないで欲しいと訴えた。ウィトコフは、人質全員の返還を確実にする米国政府の姿勢を伝えた。

・ガザ政府メディア・オフィス；停戦以来、援助トラック986台がガザに入ったと発表した。この中には、炊事用ガスを積んだトラック14台と、ディーゼル燃料を積んだトラック28台が含まれる。

・入植者のアル・アクサ・モスク中庭襲撃；不法ユダヤ人入植者が、軍の警護を受けて、アル・アクサ・モスクの中庭に乱入し、岩のドームの前でタルムード儀式を行った。

・国連；国連人道問題調整事務所（OCHA）は、たった1週間で西岸地区で入植者によるパレスチナ人及びパレスチナ人の財産に対する攻撃が71件あったことを記録した。攻撃の半数はオリーブの収穫期を狙って行われたもので、27村の農民に影響を与えた。このデータは、過去数年と比べて、入植者暴力が危険な増加であることを示している。

10月21日 11:37am

*アル・ジャジーラ：漁業組合は、イスラエル占領軍がガザ沖で漁をしていた漁師3人に発砲して、逮捕したと報告した。

10月21日 11:28am

*パレスチナ・クロニクル：アル・ジャジーラがフォレンジック・アーキテクチュア¹と共同で行った調査で、6歳の少女ヒンド・ラジャブの殺害に関与したイスラエル軍将校と兵士が特定され、新たな国際法廷闘争が生じた。

10月21日 10:27am

*ニュースのまとめ：

- ・ハマス、遺体発見困難；ハマスの交渉代表団長のハリル・アル・ハヤは、戦争中のイスラエル軍の爆撃で死亡したイスラエル人質の遺体回収に真剣に取り組んでいるが、作業は「極めて困難」であると言った。
- ・ハマス、米国ら仲介者の戦争終結宣言を信頼；アル・ハヤは合意を完全に実施する自信を表明し、「仲介者や米国大統領の言葉は我々にガザ戦争が終結したと安心させている」と言った。
- ・遺体身元確認；火曜日夜にハマスから返還された人質4人の遺体のうち、3人が家族によって身元確認された。イスラエル軍は、最近抵抗勢力が回収してイスラエル軍に渡した遺体がタル・ハイミ少佐（退役）のものであることを確認した。
- ・停戦確保へ向けて米特使派遣；ホワイトハウス高官は『ニュース・ネーション』に対し、J.D.ヴァンス副大統領がイスラエル訪問し、米国のガザ停戦への強いコミットメントを示し、イスラエルとハマス両者が停戦条件を確実に遵守するようにすると述べた。
- ・ネタニヤフ首相の停戦離脱の可能性への米国の懸念；ニューヨークタイムズは、米国政府筋はネタニヤフ首相が停戦を離脱する恐れがあると懸念しており、戦争再開を阻止するために特使を送ると報道した。
- ・WFP;世界食糧計画（WFP）の広報担当者は、ガザへの支援物資供給量は不十分であると述べ、飢餓の解消のためには大量の食料供給と集中的な医療が必要だと強調した。
- ・ガザ市東部への攻撃；イスラエル軍はガザ市シュジャイヤ地区東部への戦車砲撃を続けている。
- ・ジャーナリストの困難；プレスハウスの所長は、パレスチナ人ジャーナリストが大きな困難に直面しており、イスラエル軍がジャーナリストの身の安全を守る職業的装置の持ち込みを阻止していると語った。
- ・西岸地区シルワドで入植者の襲撃；ラマッラーのパレスチナ保健省は、ラマッラーの北の町シルワドを入植者が襲い、パレスチナ人5人が暴行されて重軽傷を負った。
- ・入植者によるパレスチナ人の車両や財産への攻撃；入植者は、ラマッラー北部のトゥルムス・アヤ近郊のワディ・アマル地区でパレスチナ人車両を襲撃した。入植者は、ヘブロン南部のアル・カルメル地区で住民の農業用テントを焼き払った。
- ・侵攻と逮捕；イスラエル占領軍は、ナブルス旧市街を襲撃し、若い男性を逮捕し、彼の車両を押収した。また、アル・ビレに侵攻し、若者を逮捕した。

10月20日 11:49pm

*チャンネル12：スティーヴン・ウィトコフ特使とジャレッド・クシュナー大統領顧問は、ネタニヤフ首相に、ガザ停戦合意を危険にさらすいかなる行為も容認できないと言った。両氏は、停戦計画の第二段階で進むことの重要性を強調した。

*アル・ジャジーラ：ガザ市長は、瓦礫の下で行方不明となっている者の多くは女性と子どもで、彼らの発掘や、上下水道の修復のために、重機と建設資材が至急必要だと訴えた。

訳注1：建築家、アーティスト、映像作家、ジャーナリスト、ソフトウェア技術者、弁護士などで構成される人権をテーマにした調査機関。ロンドンのゴールドスミス・カレッジを拠点とする。

*イスラエル首相府：ガザに駐留するイスラエル軍が赤十字から一人の人質遺体を受け取った。

10月20日 9:23pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人グループがドイツ連邦裁判所に、ドイツのイスラエルへの武器輸出に異議申し立てをする提訴をしたと、彼らの弁護士が今日発表した。

10月20日 9:14pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル占領軍が西岸地区全域で衝撃と逮捕を展開する中、イスラエルはナブルス市の70,000平方メートルの土地を接収した。

10月20日 9:09pm

*カン：イスラエルは米国に、ガザ復興開始をハマスが武装解除の意思を示すまで延期してほしいと要請した。

*チャンネル12：スティーヴン・ウィトコフとジャレッド・クシュナーは、ガザ停戦計画第二段階に向けたイスラエル軍の準備状況を協議するために、イスラエル軍将校たちと会談した。

*イスラエル軍：赤十字がガザで人質1人の遺体を受け取り、それをガザに駐留するイスラエル軍に渡すために移送している。

10月20日 9:02pm

*パレスチナ・クロニクル：ドロップ・サイト・ニュース等の報道によると、日曜日のラファでイスラエル兵2人が死亡した「ラファ事件」は、ホワイトハウスの国防総省も、ハマスの攻撃によるものでなく、不発弾の爆発による事故だと認識していたという。

*アブ・アリ・ムスタファ旅団：PFLPの軍事部門であるアブ・アリ・ムスタファ旅団は、ガザ合意に基づいてイスラエル兵の遺体を引き渡したと発表し、これは民族的義務の一環であると述べた。

10月20日 4:18pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル軍はまたもや停戦違反し、学校と難民キャンプを攻撃して民間人を殺害した。仲介国の調停者は、酷い人道的状況の中で脆弱な停戦合意を維持しようと奮闘している。